

令和 3 年度

# 学生募集要項



五所川原市  
Goshogawara City



活力ある・明るく住みよい豊かなまち  
みんな大好き ごしょがわら



## 五所川原市立高等看護学院

〒037-0045

青森県五所川原市字新町 58 番地 2

TEL 0173-34-2715

FAX 0173-23-5676

ホームページアドレス

<http://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/kangogakuin.html>

E-mail

[gakuin@city.goshogawara.lg.jp](mailto:gakuin@city.goshogawara.lg.jp)

## I. 令和3年度 募集要項

募集人員	40名
修業年限	3年（夜間定時制）
受験資格	1. 高等学校を卒業（見込み）し、准看護師の資格を有する者（免許取得見込み者を含む）。 2. 准看護師の資格所得後、3年以上看護業務に従事し、高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者。
試験日	令和3年1月15日（金）
選考方法	学科試験 一般科目：国語（作文含む） 英語 専門科目：看護全般（解剖生理含む） 面接試験
試験会場	五所川原市立高等看護学院
合格発表	令和3年1月29日（金）午前9時 本学院玄関およびホームページに合格者の受験番号を掲示します。 合格通知は、同日郵送します。

## II. 受験手続

出願書類	<p><b>受験資格 1 該当者</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学願書（写真を貼付）</li> <li>2. 准看護師の資格を有する者は准看護師免許証の写し</li> <li>3. 准看護師養成所の卒業（見込み）証明書</li> <li>4. 准看護師養成所の成績証明書</li> <li>5. 高等学校または中等教育学校の卒業（見込み）証明書</li> <li>6. 受験票（氏名を記入し写真を貼付）</li> <li>7. 受験票返送用封筒（長形 3 号） （郵便番号、住所、氏名を記入し、94 円切手を貼付する）</li> </ol> <p><b>受験資格 2 該当者</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学願書（写真を貼付）</li> <li>2. 准看護師免許証の写し</li> <li>3. 准看護師養成所の卒業証明書</li> <li>4. 准看護師養成所の成績証明書</li> <li>5. 就業証明書</li> <li>6. 高等学校卒業程度認定試験合格証の写し ※認定試験を受けていない者は本学院の入学資格認定が必要になります。 入学願書を提出する前に本学院へ相談してください。</li> <li>7. 受験票（氏名を記入し写真を貼付）</li> <li>8. 受験票返送用封筒（長形 3 号） （郵便番号、住所、氏名を記入し、94 円切手を貼付する）</li> </ol> <p><b>注）入学願書と出願書類の氏名が異なる場合は、新旧氏名が記載された戸籍抄本（発行日より 6 か月以内のもの）を添付してください。</b></p>
受験手数料	1,400 円（郵便定額小為替。未記入のもの。現金や切手は受け付けません。）
出願方法	出願書類と受験手数料を一括し、封筒の表に「入学願書在中」と朱書きして簡易書留で郵送または持参してください。
受付期間	令和 2 年 12 月 7 日（月）から 12 月 18 日（金）まで（必着） 郵送の場合、12 月 18 日消印有効。 持参する場合、受付時間は平日午前 9 時から午後 5 時とします。
提出先	〒037-0045 青森県五所川原市字新町 58 番地 2 五所川原市立高等看護学院
受験票の 交付	出願書類等が完備している者には、本人に郵送します。 試験 3 日前になっても届かない場合は、問い合わせしてください。

## 出願上の注意事項

1. すべての書類は黒のインク（ボールペン可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。
2. 出願にあたっては、該当する受験資格により必要書類を確認すること。
3. 出願書類の「氏名」は、戸籍に使用されている文字を記入すること。
4. 学歴の学校名は略さず正式名称で記入すること。
5. 入学願書に記入した内容を訂正する場合は、間違った誤った部分に二重線を引き、その上に訂正印を押し、その上段または下段に正しい事項を記入すること。
6. 写真は、正面上半身・脱帽・無背景、願書提出 6 か月以内に撮影したもので、裏面に氏名を記入し「入学願書」と「受験票」に貼付すること。
7. 書類記入の不備および書類の不足があった場合は願書を受理できません。
8. 納入された受験手数料は、理由にかかわらず払い戻しできません。
9. 一度提出した出願書類等は、返却できません。

### 個人情報の取り扱いについて

「令和 3 年度学生募集要項」請求時および出願書類に記載された住所・氏名・生年月日等の情報については、受験票発送および本年度の当学院の入学選抜に係る資料としてのみ利用するものとします。また、情報の保管については情報漏洩等の事故が生じないように適正に管理します。

### Ⅲ. 学院の概要

1. 名称 五所川原市立高等看護学院

2. 修業年限 3年（2年課程夜間定時制）

3. 教育理念・目的・目標

#### 教育理念

生命の尊厳を基盤とし、人間を尊重し、科学的思考力を持ち、時代の変化に対応できる看護の実践者の育成を目指す。

#### 教育目的

豊かな人間性を養い、人間を理解するための基礎的知識と人々の健康の状態に応じた看護を実践する能力を養い、社会に貢献する人材を育成する。

#### 教育目標

1. 人々の生命と個々の人格を尊重し、豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合された存在として理解する能力を養う。
3. 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とのダイナミックな相互作用などの観点から理解する能力を養う。
4. 人々の多様な価値観を認識し専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
5. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づき、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践する基礎的能力を養う。
7. より質の高い看護を実践するために、最新の知識や技術を主体的に学習し続ける能力を養う。

4. 授業時間 1, 2年生 17:00～20:15（月曜日～金曜日）

3年生 8:30～16:15（月曜日～金曜日） 臨地実習 4月～12月

5. 在学中の諸経費

1) 入学金：6,500円

2) 授業料：月額7,800円

3) 教材費：月額1,000円

4) 教科書代：約150,000円（3年間）

5) その他の経費：(1) 実習ユニフォーム 約20,000円

(2) 国家試験関係 模擬試験、国家試験受験手数料など 約20,000円

(3) 看護学校学生傷害保険 約7,500円（3年間）

## 6. 学校の特徴

- 1)卒業により専門士の称号が与えられる予定です。(申請中)
- 2)卒業により得られる資格
  - (1)看護師国家試験の受験資格
  - (2)保健師並びに助産師養成課程への受験資格
  - (3)大学への編入資格

## 7. 主な実習施設

つがる西北五広域連合つがる総合病院、つがる西北五広域連合かなぎ病院、五所川原保育園、障がい者支援施設、訪問看護ステーション、地域活動支援センター、五所川原市地域包括支援センター、青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター

## 8. 交通機関の学割制度

J Rを100 km以上利用するときに学割証の交付を受けることができます。

## 9. 奨学金および修学資金

在学中の申請により各制度が利用できますが、利用条件・募集人員等に制限があります。希望者が多い場合は選考の上決定となります。

- 1)五所川原市高等看護学院修了者定着促進事業費補助金制度
- 2)日本学生支援機構奨学資金制度（登録申請中）
- 3)青森県看護師等修学資金制度

## 10. その他

- 1)学生の勤務施設の斡旋は行っておりません。各自で契約してください。
- 2)学院に寮はありません。アパート等の斡旋は行っておりません。各自で手配してください。
- 3)学院では、学生用の駐車場はありません。各自で契約駐車場を確保してください。

# 五所川原市高等看護学院修了者 定着促進事業費補助金制度

五所川原市では、学生の3年次の生活を支援するため、月額5万円（1年間）の補助金を支給しています。

対象者は、看護学院に在学する3年生で、看護学院の課程を修了後に3年以上西北五圏域に定住し、かつ、西北五圏域の病院、診療所、介護老人保健施設等において看護師として勤務できる方となっています。

※補助金の受給後、要件を満たさなくなった場合は返納していただくことがあります。

# 教育課程

分野	科目名	単位	時間	分野	科目名	単位	時間	分野	科目名	単位	時間	分野	科目名	単位	時間				
基礎分野	情報処理	1	30	専門基礎分野	解剖生理病態学Ⅰ	1	30	専門分野Ⅰ	基礎看護学概論	1	30	総合分野	在宅看護論概論	1	30				
	心理学	1	30		解剖生理病態学Ⅱ	1	30		基礎看護学方法論Ⅰ	1	30		成人看護学方法論	1	15	在宅看護論援助論Ⅰ	1	15	
	哲学	1	30		解剖生理病態学Ⅲ	1	30		基礎看護学方法論Ⅱ	1	30		成人看護学援助論Ⅰ	1	30	在宅看護論援助論Ⅱ	1	15	
	統計学	1	30		解剖生理病態学Ⅳ	1	30		基礎看護学方法論Ⅲ	1	30		成人看護学援助論Ⅱ	1	30	在宅看護論実習	2	90	
	文学	1	30		解剖生理病態学Ⅴ	1	30		基礎看護学方法論Ⅳ	1	15		成人看護学実習	2	90	看護マナジメント	1	15	
	英語	1	30		診療論Ⅰ	1	15		看護における研究	1	30		老年看護学概論	1	30	災害看護	1	30	
	英会話	1	30		診療論Ⅱ	1	15		基礎看護学実習	2	90		老年看護学方法論	1	15	医療安全	1	15	
	教育学	1	30		診療論Ⅲ	1	15		小計③	8	255		老年看護学援助論	1	30	臨床看護技術演習	1	30	
	社会学	1	30		生化学	1	30		専門分野Ⅱ	小児看護学概論	1		30	老年看護学実習	2	90	統合実習	2	90
	文化人類学	1	15		薬理学	1	30			小児看護学方法論	1		15	小児看護学援助論Ⅰ	1	15	小計⑤	11	330
レクリエーション論	1	30	微生物学	1	30	小児看護学援助論Ⅰ	1	15		小児看護学援助論Ⅱ	1	30	総計	75	2190				
小計①	11	315	病理学	1	30	小児看護学実習	2	90		母性看護学概論	1	30							
			保健医療論	1	15	母性看護学方法論	1	15		母性看護学方法論	1	15							
			公衆衛生学	1	15	母性看護学援助論Ⅰ	1	15		母性看護学援助論Ⅰ	1	15							
			社会福祉	1	30	母性看護学援助論Ⅱ	1	30		母性看護学援助論Ⅱ	1	30							
			関係法規	1	15	母性看護学実習	2	90		母性看護学実習	2	90							
			小計②	16	390	精神看護学概論	1	30		精神看護学概論	1	30							
						精神看護学方法論	1	15		精神看護学方法論	1	15							
						精神看護学援助論Ⅰ	1	15	精神看護学援助論Ⅰ	1	15								
						精神看護学援助論Ⅱ	1	30	精神看護学援助論Ⅱ	1	30								
						精神看護学実習	2	90	精神看護学実習	2	90								
						小計④	29	900											

## Ⅳ. 沿革

- 昭和40年 8月 県より学院開設についての要請
- 昭和41年 2月 厚生省より2年課程夜間定時制として開設認可
- 昭和41年 3月 五所川原市立高等看護学院開設認可
- 昭和41年 4月25日 開校
- 平成19年 4月 1日 布屋町から新町へ移転
- 平成27年10月12日 創立50周年記念式典挙行
- 令和 2年 1月 8日 公立専修学校設置認可
- 令和 2年 4月 1日 公立専修学校へ移行



- JR ..... 五能線五所川原駅下車徒歩7分
- 弘南バス ..... 五所川原駅前停留所下車徒歩7分
- 弘南バス ..... 五所川原方面行き「新町」バス停留所下車 向かい